

これからの学童保育
について



星 雅人 議員

質問…放課後子ども総合プランでは放課後児童クラブの約120万人分の受け皿の確保を平成31年までの5年間で実施する予定でしたが、日本一億総活躍プランを踏まえ1年前倒しで実施することとなり、平成29年度の予算では施設整備のかさ上げや運営費補助基準額の増額など昨年度と比較して25%増の国の予算がついています。学童保育の

質の向上と量の拡充に今、国が本腰を入れて取り組んでいます。放課後児童支援員の資格取得の状況についての現状と、平成31年度末までの制度の移行期間中に必要数が確保できるのかどうかの見込みを伺います。

答弁…平成27年度に14名、平成28年度に17名の支援員が栃木県放課後児童支援員認定資格研修の受講を終了しています。平成29年度は25名の支援員が受講を予定しており、本年度末には公設・民設の支援員計84名のうち56名、全体の3分の2の支援員が資格研修を修了します。平成31年度末の制度移行期間終了までに残り3分の1の支援員にできる限り受講していただき、学童維持に必要な資格取得支援員の数は確保できると見込んでいます。

一般質問



高木 雄大 議員

彫刻品の維持・管理
について

質問…市内各所に展示してある彫刻の維持管理について伺います。
答弁…石彫作品69点、木彫作品20点、絵画2点の計91点の維持管理については、屋外展示の石彫はその周囲の草刈り作業をシルーバー人材センターに年数回委託して実施しており、屋内展示の木彫や絵画は職員が不定期に見回りながら異常などを点検し、管理しているところです。今後

についても引き続き見回りの頻度を高めながら、同様の維持管理を行っていきたいと考えています。
質問…ボランティアをつくって、清掃等草刈りをやっていただけないか、伺います。
答弁…今後も新たに制作展示する彫刻品等の数が増え、1000点を超える作品を維持管理することになっていきます。その負

担も大きくなっていくことが見込まれますので、市広報での定期的な作品紹介や案内パンフレットの配布を通して、市民の皆様の彫刻品に対する興味関心をより一層高めて、作品の清掃等についても、市民の皆様のご理解、ご協力を得て、ボランティア活動によって行える体制も整えていきたいと考えています。